

第54回 全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会

競技規定

日 時 平成24年10月12日(金) 午前7時53分スタート 7分間隔 36組予約
場 所 小野グランドカントリークラブ ニューコース

競技の方法

1. 本競技は18ホールストロークプレーとする。
2. スコアで1位タイが生じたときは、サドンデスプレーオフにより優勝者を決める。使用ホールは当日競技委員会で決める。2位以下はマッチングスコアカード方式で決定し、なお決定しない場合はカウントバック方式で決定する。
3. 天候その他不測の事故が生じた場合は、競技委員会の判断により競技方法を変更することがある。

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用球の規格
 - (1) 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付I(c)1b』を適用する。(ゴルフ規則175頁参照)
 - (2) ラウンド中使用する球について『ワンボール条件・ゴルフ規則付I(c)1c』を適用する。
(ゴルフ規則176頁参照)
4. 使用クラブの規格
 - (1) 『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付I(c)1a』を適用する。
(ゴルフ規則174頁参照)
 - (2) 溝とパンチマークの規格
2010年1月1日施行の『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』は適用しない。
5. スタート時間
『ゴルフ規則付6-3a』を適用する。
6. 移動
正規のラウンド中の移動については『ゴルフ規則付I(c)8』を適用しない。(ゴルフ規則181頁参照)
乗用カートの乗車は可とする。
7. 競技終了時点
本競技は、競技委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了したものとみなす。
8. ホールとホールの間での練習禁止(ゴルフ規則7-2注2)
『ゴルフ規則付I(c)5b』を適用する(ゴルフ規則179頁参照)。

9. プレーの中断と再開

- (1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。(ゴルフ規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

10. キャディー(ゴルフ規則6-4注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定されもの以外をキャディーとして使用することを禁止する。「ゴルフ規則付 I (c)2」(ゴルフ規則177ページ参照)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは黄杭、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. クリークの側面の石及び橋はコースの不可分のものとする。

(予備グリーンがある場合)

予備グリーンの扱いは、「目的外グリーン」としてのルールを適応してください。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のある時は、クラブハウス内受付付近に掲示して告示する。
2. スタート時間5分前には、必ずティーインググラウンド周辺に待機すること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則 6-7 により罰せられる。
4. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、ゴルフ規則 8 により罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。

競技委員長 吉田智行